

## ワークショップ 12

### 「消化管疾患における漢方の役割」

司会 島田 光生（徳島大学大学院消化器・移植外科）

河野 透（札幌東徳洲会病院先端外科センター）

消化管に作用する漢方薬としては、胃排出促進作用や accommodation 促進作用のある六君子湯、小腸・大腸運動の亢進作用から便秘や術後イレウス予防効果のある大建中湯が知られており、周術期管理にも使用されている。厚生労働省「がん対策加速化プラン」での支持療法の開発・普及において、漢方は重点項目となっており抗がん剤治療中の口内炎やフレイルなどの軽減にも用いられている。

本セッションでは消化管疾患における漢方の基礎的、臨床的エビデンスを報告していただきたい。